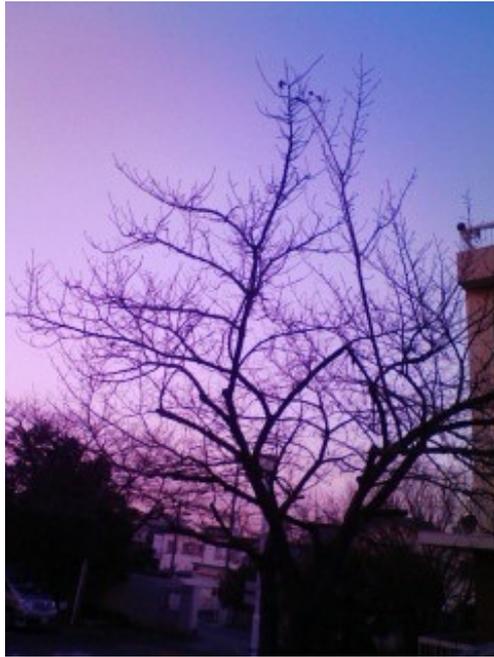


水ノ流れ唄

沫雪



心に灯った優しさの火が

ずっと ずっと

貴方を照らします様に…。



時には
素直な感情をぶつける事も大切だよ？

“嫌な時”には「嫌だ」と。

“辛い時”には「辛い」と。

ね？ 心に無理しないで。



あの日

掲げた手のひらには

夢や希望のほかに何が在ったんだろう・・・

今の僕には無い、"何"が・・・。



The world on the outside
and

The world in inside
(外の世界と内の世界)

Which is happy?
(どっちが幸せ?)



自分という存在が
誰かの“支え”になっていると知った。

“自分”の行動が、言葉が、
誰かの救いになっていたと知った。

遅いかな..

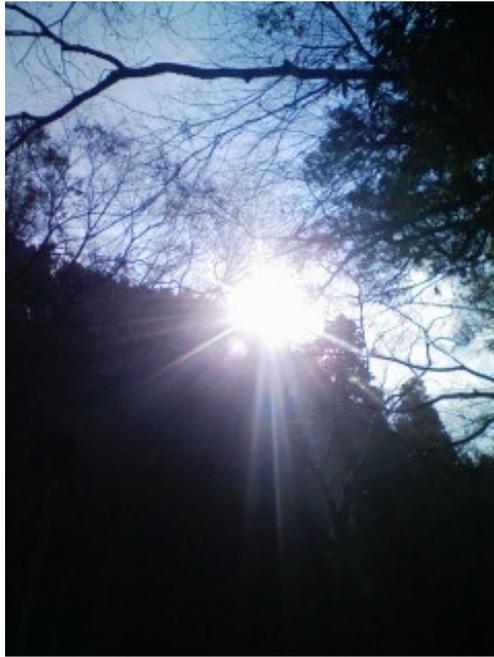
今頃、そんなコトに気付くなんて..。



生命を代価にゆずれるモノなんて
僕には無い。

けど、

生命と同じくらいに守りたいモノなら
沢山 沢山 在るんだ..。



愛情が紡ぐ奏(メロディ)は
優しい風になった

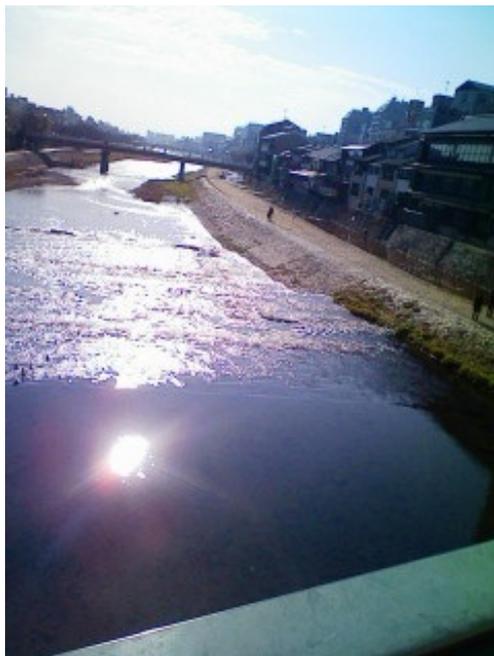
あたたかい涙が落ちて
癒しの河が生まれた

形の無い蒼い空
形の無い碧い海

僕等を優しく抱く
あたたかなこの地球(ほし)で

今日も
沢山の出会いと別れが繰り返されてゆくんだ…。

矛盾の中のボクラ。



「後悔の無い日々を過ごそう」とみんな言うけれど
後悔の無い日々なんて無い。

人生は良い事と悪い事が半分ずつっていうけど
悪い事の方がずっと多い。

僕等は 悪循環の繰り返しの中で生きている…



ほんの小さな綻びが
しだいに大きく大きくなってゆく…。
心に生まれた 小さな綻び
気付かない内に どんどん大きく、
心に影を生み出してゆく…。

けれど
心の綻びは
誰かの心と触れ合うことでほんのちょっと小さくなる。

誰かの優しさで小さくなるんだ。

射光(ヒカリ)に向かって..



どんなに
辛い境遇(こと)ばかりになっても、
笑顔を絶やさずにいられる
自分でいたいな..。



僕が 君の為に出来ること・・・
今もまだ見付からない
今という時間(きょう)が思い出(きのう)に変わる(なる)前に
何か答え(コタエ)が見付かるかな？

伸ばした手に込められた願い・・・
今はまだ届かない
呪縛(クワダマ)の様な思い出(キオク)の中で
何時か目覚める日が来るかな・・・

たった一つの願いが
今の僕には果て無く遠い
夜空(そら)を駆け巡る流星(ひかり)が
何時か 救いとなります様に・・・

あたたかなキモチ。



優しさ。

それは 誰もが持つてる

あたたかなキモチ。



焦ることはない。

“やりたいこと”なんて

時間の気まぐれで見つかるものだから・・・。



どんなに些細な一言でも
それが欲していた言葉なら
大きな大きな支えとなり
道を照らす一筋の光になる。



時間(とき)は永久(えいえん)という長さで流れてきて
永久(えいえん)という長さで流れてゆく

だけど

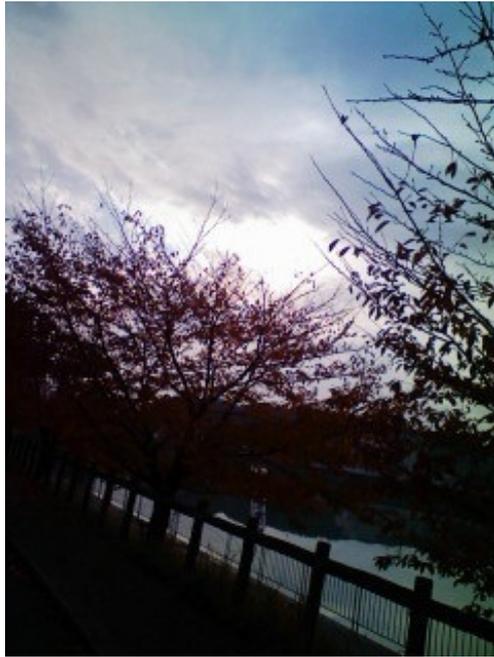
“僕等”という存在は、長い長い流れの中のほんの一瞬。
だから、“自分”見失わないで…。



何時からだろう
誰かの嘆^(な)く聲が聴こえる様になったのは
何時からだろう
その聲がより強く聴こえる様になったのは

僕等は 誰よりも愛に貧欲^(うえていた)だった
温もり要求して^(もとめて)伸ばした手は
やがて 君の伸ばした手と重なる日が来るのだろうか？
凍てついた心を ただ時間だけが見守っていく

僕は君の温もり求め彷徨う
木漏れ日の様に掴めない君の面影^(まぼろし)を
何度でも抱き締めるよ



暗闇の中で、かすかに見えた煌(ひかり)。

その煌(ひかり)は
例え 小さな小さなものだったとしても
暗闇の中で彷徨い続ける者には
大きな大きな導(ささえ)となる・・・。



楽な道じゃなくたっていいじゃない。

苦勞して手に入れるものだからこそ
"誇り"が生まれるんだ・・・。



人と人のツナガリ。

心と心のツナガリ。

何処までも・・・

何時までも・・・

さあ 踏み出そう。



ちょっとだけ踏み出すことで
見えてくるものもあるんじゃない？

その一歩が
怖く感じてしまうかも知れないけど

勇気を出して踏み出そうよ。
きっと その先には新しい君が待っているから・・・。



何がしたいんだろう
今自分はどこに居ればいいのか・・・

居場所を求め
答えの見えない迷宮を歩み続ける・・・。



小さな小さな この芽。

これから

どれだけ大きくなり
どれだけの枝を付け
どんな花を咲かせるんだらうね. . ?



言葉にも温度があるんだね。

だって ほら

君の言葉は
こんなにも温かく 僕の心を包んでる。



この天穹(そら)の下で..
今日も 君と出逢えたという感謝。

この夜空(そら)の果てで..
明日も 君と出逢えるという感謝。

めをそらさないで..。



一つのものばかりを目指して走り続けていると
他のモノが見えなくなる。

ある日 それに気づき 戸惑ってしまう..。

けれど そんな時だからこそ
目を逸らさずに ゆっくりとでも
向かい合っていかなければいけないんだね..。

トウヒの先ニ…。



逃避の果てに見つけた世界・・・

そこに

汚れ無き 真っ白な未来はあるのだろうか？



どんなに小さく険しい獣道でも
ただ
純粋に どこまでも興味だけで進んでゆけた。

何時からだろう。
そんな気持ちを忘れたのは・・・。
何時からだろう。
歩むことに恐怖を感じ始めたのは。



真っ白な雪の上・・・

まるで何も描かれていないキャンバスの様な世界に
一歩 一歩
僕等の歩いた軌跡が残されてゆく・・・。



この気持ちを何処まで運ぶ・・・？
何処まで駆けてゆこうか・・・？

気持ちの行方・・・

誰に聞こう・・・？
何処に聞こう・・・？



静かな・・・ただただ静かな・・・
そんな空間の中・・・

僕は無意識のうちに宙へと手を伸ばした・・・。

いつの間にか
僕は光を手に入れていたんだ・・・。

明日天気に・・・。



信じたい・・・

今日の涙(アメ)が
明日の太陽(エガオ)に繋がっていることを・・・。

僕のココロに灯るのは・・。



僕の心に小さな けれど 暖かな灯が灯る・・。

それは
君がくれた言葉の数々・・。



永遠(とわ)の時間を人間(ヒト)は望むけど

無限の時間の中では
人間(ヒト)は退屈してしまう。

限りがあるから
人は精一杯生きていけるのだから・・・。

キョウユウ。



僕と君は違うから
全てを“理解する(わかりあう)”なんて出来ない

僕と君は器の形が違うから
お互い自分に無い物ばかり見つけてしまう

だけど 共有できる気持ちはきっとあるから・・・

僕は これからも君と歩いてゆくよ・・・。

大丈夫だよ。



我慢も時には必要だけど
そればかりだと自分が辛くない？

いいんじゃない？

たまには感情のままに
怒ったり、泣いたり、笑ったりすれば. . .



今日という旅立ちに
どんな願いをのせようか・・・。

今日という時間を
どんな言葉で飾ろうか・・・。

“今”を
“確か”に歩きたい



我慢しているものが沢山あって
その中で“一つだけ”手に入れられると言われたら
僕は一体何を選ぶだろう？

そして

君は一体何を選ぶだろう・・・？



やさしく燈(とも)る 天(ソラ)の灯(ひ)よ..。

僕の心も 優しく灯せ..。

君の心も 優しく灯せ..。

誰の心も ただ 優しく 包んで..。